

リズム

RHYTHM

2018年9月

Vol.41

● 情報誌「リズム」の送付
男女共同参画支援センター情報誌「リズム」を希望する事業所に送付します。「リズム」は宇治市ホームページからもダウンロードできますので活用ください。

お問い合わせは 宇治市男女共同参画支援センター

TEL: 0774-39-9377 FAX: 0774-39-9378

E-mail: danjokyoudou@city.uji.kyoto.jp

イクメン 増えてはいるものの〇〇〇〇

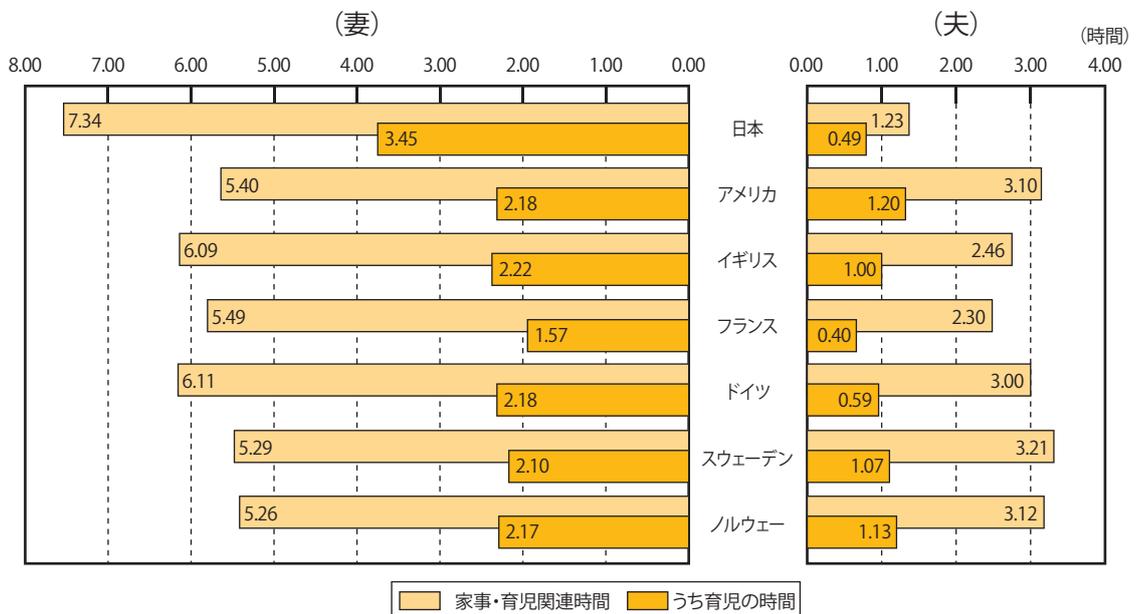
「イクメン」という言葉が、ここ数年で浸透してきました。「イクメン」とは、「子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性、または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性」のことです。

今、子育てにもっと関わりたいと思っている「イクメン」が増えています。

子育てを後押しする仕組みや制度、育児休業や両立支援などを活用しやすい環境づくりが徐々に進んできてはいるものの、まだまだ男性の育児や家事の時間は少ないのが現状で、働く時間が長いという事も一因として挙げられます。子育て期にある30代、40代は平成29年(2017年)年でそれぞれ14.7%、14.9%が週60時間以上の就業時間となっています。

平成28年(2016年)における、小学校に入る前の6歳未満の子どもを持つ夫の育児の時間は49分、妻の育児の時間は3時間45分とかなりの差があることがわかります。また、アメリカやヨーロッパの主な国の夫の育児の時間と比べても少なく、日本は、他の先進国よりも低い水準にとどまっています。

6歳未満の子供を持つ夫婦の 家事・育児関連時間 (1日当たり「国際比較」)



(備考) 1. Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2016) 及び総務省「社会生活基本調査」(2016年)より作成。

2. 日本の数値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫と妻の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体)である。

資料:内閣府資料

政府は6歳未満の子を持つ夫の育児・家事関連時間を平成32年(2020年)には2時間30分となることを目標としています。夫の育児・家事関連時間が増えることによって、妻の負担が減り、夫婦間のパートナーシップが強まり、子どもの成長にもいい影響を与えます。

センターでは京都文教短期大学と共催し、男性の育児を応援するため「お父さんとつくりよう!エコどうぶつ工作教室」を実施します。詳しくは2ページをご覧ください。

お父さんをつくろう! エコどうぶつ工作教室



普段、子どもとゆっくり遊ぶ時間がないお父さん!
要らなくなった紙袋やボタン、リボンなどを使って動物を作りませんか

- ◆日時 10月20日(土) 10:00~12:00(受付9:30~)
- ◆参加費 無料
- ◆場所 男女共同参画支援センター 4階会議室1
- ◆定員 15組30名(要申込・先着順)
- ◆対象年齢 子(3歳~6歳)と父(母・祖父母の参加可) 保育:6カ月~2歳(要予約)
- ◆持ち物 紙袋3枚(大きさ、色、模様は自由) 不要になったボタン、ひも、布など
- ◆申込期間 10月2日(火)~10月14日(日)(8:30~17:15※月曜除く) 電話または来館で

関係団体のご紹介

このコーナーでは宇治市男女共同参画支援センター関係団体を紹介しています。今回は『京都文教大学フィールドリサーチオフィス』さんをご紹介します。

京都文教大学フィールドリサーチオフィス

京都文教大学の地域連携を担当する部署です。宇治橋通り商店街にある「ぶんきょうサテキャン宇治橋通り」の運営や、地域で活動を行う学生たちのサポート、公開講座などを通して、大学と地域がともに学び合っているような関係づくりに努めています。



市民参加の音楽イベント

message

サテキャンをはじめ、京都文教大学では市民の方にも参加いただける講座やイベントを多数開催しています。秋には、学生が主催する「宇治茶スタンプラリー」や宇治橋通り商店街の「わんさかフェスタ」などがありますので、気軽に遊びにきてください。

市民企画事業奨励事業

自分の体力を知っておく!おとなの体力測定 ~男女が健康で生き生きと活躍するために~

いま、中・高齢者の体力低下により、要介護につながるロコモティブシンドローム(運動器症候群。運動器が衰え、「立つ」「歩く」などの動作が困難になる状態)や生活習慣病が問題となっています。男女がさまざまな分野で、生き生きと活躍するためには、まず、健康であることが必要です。この講習会では、体力測定を行い、自分の体力を知り、体力向上に取り組んでもらえる運動方法を紹介します。

- ◆とき 平成30年11月6日(火) 体力測定・ストレス度測定とイス体操
平成31年 2月5日(火) 血管年齢測定とちょっと上をめざした体幹トレーニング
いずれも午後1時30分~4時

◆ところ 男女共同参画支援センター 会議室1

◆定員 40人

◆講師 華学 和博 さん(健康運動指導士)

◆参加費 各日500円(当日いただきます) ◆持ち物 敷物(バスタオルなど)、タオル、お茶、筆記用具

◆問合せ・申込先 黒澤 弘和 さん(☎0774-23-7949) ◆主催 すこやか体操連絡会



インターンシップ生の紹介

男女共同参画支援センター（男女共同参画課）では毎年、大学生の将来の進路決定への協力の一つとしてインターンシップ生を受け入れています。今回は、8月・9月にセンターでインターンシップ研修を行った、京都文教大学臨床心理学部3回生の竹中 彩香さん、立命館大学法学部2回生の小森 絵梨香さん、3回生の村上 明日香さんにお話を伺いました。

竹中さん

私は公務員を目指しており、その仕事内容を詳しく知りたかったので、このインターンシップで市役所を志望しました。男女共同参画については最近ネット等で性別に関する問題をよく目にするくらいでしたが、それについての興味はありませんでした。

私はデートDV防止の啓発しおりの作成に携わらせていただきました。わかりやすく、人の目にとまるようにと考えて作るのは難しく、簡単に出来ることではないことがよくわかりました。そして色々な方のお話を伺って、私が性の問題について知識不足であることを思い知りました。よい経験をさせていただきました。ありがとうございました。



小森さん

私は現在大学2回生ですが社会について無知であり、また数年後自分が社会人として働き、立派に社会貢献できるのが不安を抱えています。そのため、社会経験の意味合いも兼ねて、興味があった男女共同参画を取り扱っているゆめりあうじさんの

インターンシップに参加させていただきました。

イベントの「平和☆ひゅうまん夏フェスタ」では、受付として市民の皆様とひとときですが直接関わることができ、嬉しく思いました。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



村上さん

私は大学で待機児童問題について学んでおり、この問題は女性の

雇用などの点について男女共同参画と深くかかわっていると考えているため、興味がありこのインターンシップを志望しました。

実際に宇治市のイベントに参加したり啓発ポスター作成に関わったりすることで、男女共同参画についてだけでなく「働く」ということについても、座学では学ぶことができなかった良い経験がたくさんできました。ありがとうございました。

1階ギャラリーステップワン展示日程

期間	展示者	展示物
10/4 ~ 10/17	布あそび	創作布小物、キルト
10/18 ~ 10/31	女子力☆キラキラ応援団	ヨガ、ワークショップ等の写真・実物
11/1 ~ 11/14	こども福祉課 男女共同参画課	オレンジリボン・パープルリボン キャンペーン啓発展示
11/15 ~ 11/28	農林水産省近畿農政局	農山漁村における男女共同参画の取組
11/29 ~ 12/12	障害者週間記念事業実行委員会	障害者週間啓発展示
12/13 ~ 12/26	まちづくりねっと・うじ	活動紹介

ギャラリー ステップワンでは年間を通じて市民の皆さんの活動成果や作品などを展示しています。

10月～12月の展示日程は左記のとおりです。



宇治市連合喜老会俳句委員会
「福寿句会」さん展示風景

3階情報ライブラリーおすすめ図書

★ おすすめ BOOKS

● 図書貸出しはお一人 3冊 2週間までです。貸出カードをお作りします。

『ワンオペ育児※
わかってほしい休めない日常』
藤田結子 著 毎日新聞出版



早朝から夜遅くまで家事に育児に、さらに仕事と一日中働きづめの女性たち。対する父親たちの現状も考察しつつ、気鋭の社会学者が当事者の立場からその実情を伝え、読み解き、乗り切る方法を提案する。

『Black Box(ブラックボックス)』
伊藤詩織 著 文藝春秋



信頼していた人物からの、思いもよらない行為。その事実を証明するにはあらゆるところに「ブラックボックス」があった。レイプ被害に遭ったジャーナリストが、自ら被害者を取り巻く現状に迫る、圧倒的ノンフィクション。

『「パパは大変」が
「面白い！」に変わる本』
安藤哲也+NPO法人ファザーリングジャパン 著 扶桑社



世間やママが求める「理想のイクメン像」と、仕事と家庭の両立に奮闘する「現実のイクメン」の乖離に苦しむ日本のパパたちへ送る、家庭で職場で地域で「父親であることを楽しむ」ための様々な実践的アイデアが詰まった一冊。

※ワンオペ育児：ブラック企業の「ワンオペ」(ワンオペレーション=1人作業)が母親たちの育児や家事の状況とそっくりなことから、ネット上を中心に使われ始めた。

宇治市男女共同参画支援センター ご案内

宇治市男女共同参画支援センターは、男女共同参画に関する施策の実施や、市民の皆さんによる男女共同参画の推進に関する取り組みを支援する施設です。詳しくはセンターまで。

- ▶▶ 印刷室(1階)を利用する
- ▶▶ 活動スペース・情報ライブラリー(3階)を利用する
- ▶▶ 会議室(4階)を利用する
- ▶▶ 無料相談を利用する
女性のための相談・男性のための電話相談
ここからチャレンジ相談
- ▶▶ 女性問題アドバイザー派遣を利用する

編集・発行 宇治市男女共同参画支援センター

〒611-0021 宇治市宇治里尻5-9 JR宇治駅前 ゆめりあうじ内

TEL: 0774-39-9377 FAX: 0774-39-9378 E-mail: danjokyoudou@city.uji.kyoto.jp